

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【公表番号】特表2014-534087(P2014-534087A)

【公表日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-070

【出願番号】特願2014-528493(P2014-528493)

【国際特許分類】

B 2 9 C 39/22 (2006.01)

H 0 2 J 9/06 (2006.01)

F 1 6 K 31/04 (2006.01)

B 2 9 C 39/02 (2006.01)

B 2 9 K 75/00 (2006.01)

B 2 9 K 105/04 (2006.01)

【 F I 】

B 2 9 C 39/22

H 0 2 J 9/06 5 0 5 C

F 1 6 K 31/04 Z

B 2 9 C 39/02

B 2 9 K 75:00

B 2 9 K 105:04

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力電源によって電力が供給されるフォーム・イン・バッグデバイスであって、
 フォーム・イン・バッグパッケージング材料を作るために発泡前駆体をフィルム材料の
 ウェブヘディスペンスするためのディスペンサユニットと、

前記発泡前駆体を前記ディスペンサユニットに供給するために前記ディスペンサユニッ
 トへ接続された流体供給導管と、

前記入力電源からの入力電力によって通常電力が供給され、前記ディスペンサの出口へ
 接続され、前記発泡前駆体のディスペンスを許容するために前記発泡前駆体の流れを可能
 にする開口状態と、前記発泡前駆体のディスペンスを防止するために発泡前駆体の流れを
 防止する閉鎖状態との間で起動可能であるバルブと、

入力電力の停電の検出により前記バルブを前記閉鎖状態へ起動するために余剰電力を前
 記入力電源から送り、前記フォーム・イン・バッグデバイスによるフォーム・イン・バッ
 グの製造を停止するよう構成された停電保護機構と、

を備えることを特徴とするフォーム・イン・バッグデバイス。

【請求項2】

前記停電保護機構は、入力電力の停電を検出し、前記入力電力の停電が検出されると前
 記余剰電力を前記バルブへ送るために接続されることを特徴とする請求項1に記載のデバ
 イス。

【請求項3】

前記余剰電力は、前記入力電源によって供給されることを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 4】

前記余剰電力は、前記入力電力の停電後の前記第 1 の電源からの剰余電力を含むことを特徴とする請求項 3 に記載のデバイス。

【請求項 5】

前記入力電源は、少なくとも 1 個のキャパシタを含み、前記剰余電力は前記キャパシタに蓄えられた電力を含む請求項 4 に記載のデバイス。

【請求項 6】

前記停電保護機構は、約 10 秒未満の間前記バルブを前記閉鎖状態へ起動するために前記余剰電力を送ることを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 7】

前記停電保護機構は、
入力電力の停電を検出して停電信号を発生するように構成された停電検出構成と、
前記停電信号を処理するように構成された停電処理構成と、
を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 8】

前記停電処理構成は、フィールドプログラマブルゲートアレイと、前記停電信号を処理するための光アイソレータとを含むことを特徴とする請求項 7 に記載のデバイス。

【請求項 9】

更に、前記開口状態と前記閉鎖状態との間で前記バルブを起動するために前記バルブと動作上関連するバルブ起動構成を備え、

前記バルブ起動構成が入力電力の停電が検出されると前記バルブを閉鎖するように前記起動を制御するために前記バルブの位置を検出するように構成されたセンサを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 10】

前記前記起動構成がモータを備えることを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 11】

前記発泡前駆体は、前記フォーム・イン・バッグ保護パッケージングのために膨張し且つ固化する発泡体を生成するために一緒に反応するように選択された第 1 と第 2 の発泡前駆体を含み、

前記ディスペンサユニットが前記発泡前駆体を混合しディスペンスするように構成された混合モジュールを備えることを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 12】

前記閉鎖状態にある前記バルブは、前記ディスペンサユニットからの前記第 1 と第 2 の発泡前駆体の流れを防止することを特徴とする請求項 11 に記載のデバイス。

【請求項 13】

前記バルブがバルブ調節ロッドを備えることを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 14】

バルブ起動アセンブリをさらに備え、

前記バルブ起動アセンブリは、

前記入力電源によって通常電力が供給され前記バルブに動作上接続されるモータであって、前記開口状態と前記閉鎖状態との間で前記バルブを移動するモータと、

前記バルブの位置を検出するバルブセンサと、

を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 15】

前記停電保護機構は、

前記バルブ起動アセンブリと電氣的に通信をするプロセッサと、

前記プロセッサおよび前記入力電源と通信するモニタリングモジュールと、

をさらに備え、

前記モニタリングモジュールは、前記入力電源をモニタし、前記入力電力の停電の検出により前記プロセッサに停電信号を送信し、

前記プロセッサは、前記バルブセンサから前記バルブの位置を受信し、

前記バルブが前記開口状態である場合に、前記プロセッサは、前記バルブを前記閉鎖状態に起動するために余剰電力を前記入力電源から前記モータに供給することを特徴とする請求項 14 に記載のデバイス。